

「うちどく」通信～2018.6～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕



【6/8 提出分】

提出数/人数 (欠席)

提出数/人数 (欠席)

1年 17/17 ☆GOOD☆

4年 20/21

2年 23/23 ☆GOOD☆

5年 25/25 ☆GOOD☆

3年 17/19

6年 20/20 ☆GOOD☆

全校 122/125

1年 こうたろう 『へんしんレストラン』 あきやまだし Eア 聞いた人：おじいさん、おばあさん

こうたろう：しりとりみたいにものがかわっていくところが、とてもおもしろかったです。

お母さん：おじいちゃん、おばあちゃんと本を読む機会ができ、お互いにとってとても良いコミュニケーションツールとなりました。

1年 まりさ 『いちにちのりもの』 ふくべあきひろ Eフ 聞いた人：おばあさん

まりさ：のりものがおおくて、おもしろかったです。

おばあさん：いろいろな乗り物が出てくるたびに、大きな声で楽しそうに読んでいました。

2年 けいと 『うごいちゃだめ!』 エリカ・シルヴァマン Eシ 読んだ人：お母さん

けいと：あひるとがちょうがうごかなかったので、おもしろかったです。

お母さん：あひるとがちょうのやりとりがおもしろく、ほっこりしました。読んだ後に、兄弟で「うごいたらまけ」きょうそうを楽しんでいて、見ていておもしろかったです。

2年 のあ 『うそついちゃったねずみくん』 なかえよしを Eナ 聞いた人：お母さん

のあ：きつねもうそはついたらいけないけど、ねずみくんはもっとうそをついたので、だめだなと思いました。

お母さん：きつねくんのうそにだまされてしまったねずみくん。たしかに、ケーキがおいしく感じないのが分かります…。でも、最後には、ねみちゃんと仲直りできてよかったです。

3年 しん 『10分で読める伝記 4年生(ルイ・ブライユ)』 塩谷京子 28シ 聞いた人：お母さん

しん：目は見えなくなったけど、点字をはつめいたからすごかったと思いました。

お母さん：ルイ・ブライユという人のことを初めて知りました。点字を発明したのが13歳のころだということにおどろきました。息子も、「点字ってなに？」と、はじめて聞く言葉だったようで、最後までしっかり読んでいました。

3年 はるひ 『うみのかくれんぼ2 いろをかえてかくれる』 武田正倫 48ウ 聞いた人：お母さん

はるひ：「たこくらげ」というくらげがかわいかったです。

お母さん：かくれんぼが上手な生き物が多くてびっくりしました。子どもと一緒に「どこにかくれてるかな」と、探すのを楽しみながら聞くことができました。

4年 ここな 『こうま』 ゴードン・クレイトン 48ホ 聞いた人：おばあさん

ここな：子馬の成長はとても早い。生まれたばかりでもう立っている。2週間でまきばを走ることができる。本当に早い成長だなと思いました。

おばあさん：人間とくらべると、馬の成長は本当に早く、母馬に甘えてよりそっているのを見ると、人間の親子とよく似ているなど、ほほえましく読みました。

4年 のぞみ 『サイモンは、ねこである。』 ガリア・バーンスタイン Eハ 聞いた人：お母さん

のぞみ：ライオンやチーターやピューマやクロヒョウやトラは、全部同じねこの種類なんだと思いました。

お母さん：サイモンが言ったとおり、ライオン、トラ、チーター、ピューマ、クロヒョウは、みんなネコ科の動物ですね。他にも探したら、いろいろと仲間の動物ができそうですね。

5年 まさはる 『ビタミンの秘密をさぐる2』

(おうちの本) 聞いた人：お父さん

まさはる：ぼくは、この本を読むまではビタミンが足りていると思っていたけど、読んでから、野菜が全然とれていないから、ビタミン不足だと初めて知りました。だから、これからは野菜を必ず食べたいと思いました。

お父さん：この本を読んで、ビタミンCの必要を再認識しました。カゼをひかないとか、タバコはビタミンCをこわすなどは知っていました。半世紀以上生きているのに、まだまだ知らないことが多いなと思いました。野菜は嫌いな方ですが、長生きのため、食べる量を増やそうと思います。

6年 れん 『ピカソ』 杉原めぐみ 28ア

聞いた人：おばあさん

れん：子どもの時に、父親をおいこすほどの絵の才能があつて、すごいと思いました。

おばあさん：ピカソの絵を見て、へんな絵だなあと感じていましたが、まさかデフォルメされていて、戦争の悲しみや内面の感情などを表現しているとは全然思いませんでした。

この本は、子どもたちがわかりやすいように書かれていて読みやすいので、いろいろな人物を読んでほしいなあと思いました。図書館に本がたくさんあるなら、もっとどんどん読んでくれたら知識も広がるだろうと思います。

6年 はるな 『海のいのち』 立松和乎 (きょうかしよ) Eタ

聞いた人：お母さん

はるな：太一は、小さいころから漁師になると決心し、最後は村一番の漁師になれたのでよかったですと思いました。

お母さん：太一は、漁師である父を海で亡くしてしまいましたが、それでも後をついで、村一番のすばらしい漁師になれたのは、父がどこかでいつも見守っていてくれたからだと思えるお話でした。